

質問書に対する回答
首都圏中央連絡自動車道 成田北工事

番号	図面番号	質問事項	回答
1	特記仕様書P41 22-22	中層混合処理工法を指定していますが、改良深度2m未満の場合は他の工法をお考えでしょうか。もし、他の工法のお考えがありましたらその工法をご教示願います。	改良深度2m未満の場合についても、中層混合処理工とお考えください。
2	金抜設計書 番号18	コンクリートブロックの規格が「練積・控長35cm」とありますが、サイズやm2当り質量など、その他の規格をご教示願います。	コンクリートブロックの規格については、共通仕様書4-17-3に示すとおりです。
3	金抜設計書 番号81	集水ますDc-S-0.80-0.80-1.90の数量が図面と数量計算書とで異なっています。どちらが正であるか、ご教示願います	集水ますDc-S-0.80-0.80-1.90の数量については、設計図 平面図 12/16、15/16に示すとおりです。
4	金抜設計書 番号119	鉄筋Cの機械式定着の箇所数に関しまして、数量計算書だと合計25,235個、図面だと合計25,571個であり、第3号函渠において差異がございます。どちらが正であるか、ご教示願います。	鉄筋Cの機械式定着の箇所数については、設計図 溝渠工 6/74、11/74、13/74、17/74、39/74に示すとおり、合計25,571個です。
5	特記仕様書P42、P43 22-22-4 5)、7)	地盤改良工の試験費に關しまして、別途計上するものとして、事前検査の「現場サンプリング(ボーリング含む)」「土の湿潤密度試験」、事後検査の「現場サンプリング(ボーリング含む)」とし、諸経費に含まれ計上の必要がないものとして、事前検査「上の含水比試験方法」「土の一軸圧縮試験方法」および事後検査「深度方向の品質確認」「土の一軸圧縮試験」として積算されているものと考えてよろしいでしょうか、ご教示願います。	特記仕様書22-22-4 5)、22-22-5 7)に示すとおりです。
6	特記仕様書P13、P14 13-1	工事用道路に関する事項(4)(5)運搬経路における⑤⑥⑦の路線幅員が3～4mとなっておりますが、工事用道路は全幅で4mとなっております。路線幅員について、正確な道路情報をご教示願います	特記仕様書13-1に示すとおり、⑤⑥⑦については、3～4mの断面変化がありますので、最低片側車線幅員は3mとお考えください。

質問書に対する回答
首都圏中央連絡自動車道 成田北工事

番号	図面番号	質問事項	回答
7	特記仕様書P14 13-1	工所用道路に関する事項(6)運搬経路①町道多古1063号線に關しまして、01-01平面図4/16上の①町道多古1063号線の位置にずれがあります。正確な延長および図面をご教示願います。	延長については特記仕様書13-1(6)①の通りです。位置については、設計図面 平面図P4/16に基づきお考えください。
8	割掛対象表参考内訳書 【準備工事費】	工事車両泥落し装置の泥落し装置(乾式)のタイプは前後輪(全輪)型か後輪型でしょうか、ご教示願います。	割掛対象表参考内訳書に示す内容は、設計図書に明示した条件により発注者が必要と考えた付屬的な仮設物等の間接的な工事の数量内訳等であり、発注者が指定仮設物として指定したもの以外は、受注者の責任において必要なものを定め施工していただくこととなります。したがいまして、本件ご質問につきましては、貴社の施工計画に基づきお考えください。